



S O C U
DIVERSITY
Promotion Office

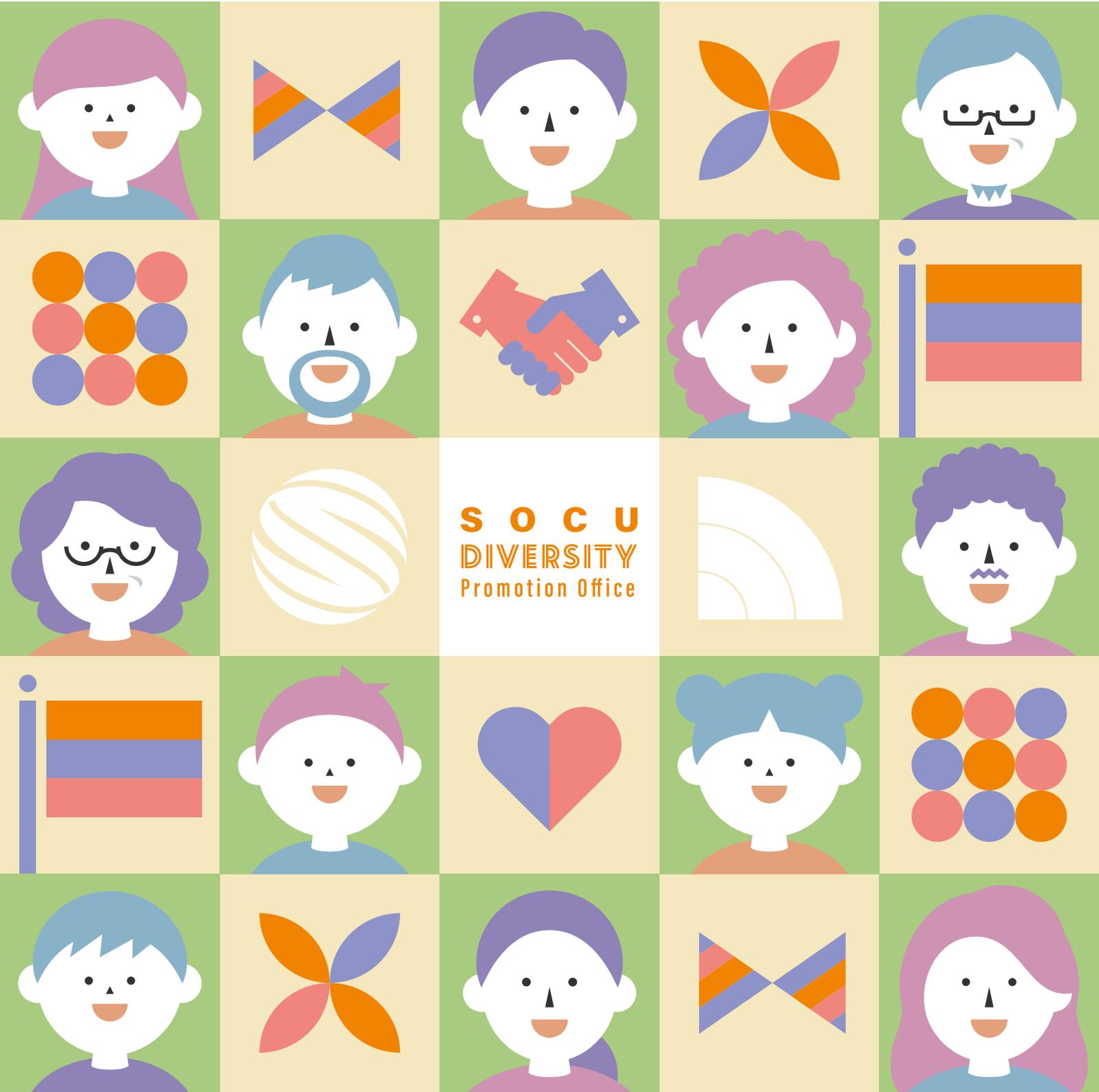


山陽小野田市立

山口東京理科大学

ダイバーシティ推進室

文部科学省人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」



ごあいさつ

「ダイバーシティ」とは、通常「多様性」と訳され、社会において人種・国政・性・年齢は問わずに人材を活用することを意味します。多様な視点を取り入れることによって、社会的な総合力を高めることが目的です。

SDGs（持続可能な開発目標）では、③すべての人に健康と福祉を、④ジェンダー（社会的・文化的な性別）平等の実現、⑧働きがいも経済成長も、⑩人や国の不平等をなくそう、⑯平和と公正をすべての人に、など17のゴールから構成され、障がい者、外国人、性的マイノリティーをはじめ、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。日本でも様々な取り組みがなされていますが、各国における男女格差を測る「ジェンダーギャップ指数」（2021年）では、日本は156か国中120位であり、先進国の中でも最低レベルでした。

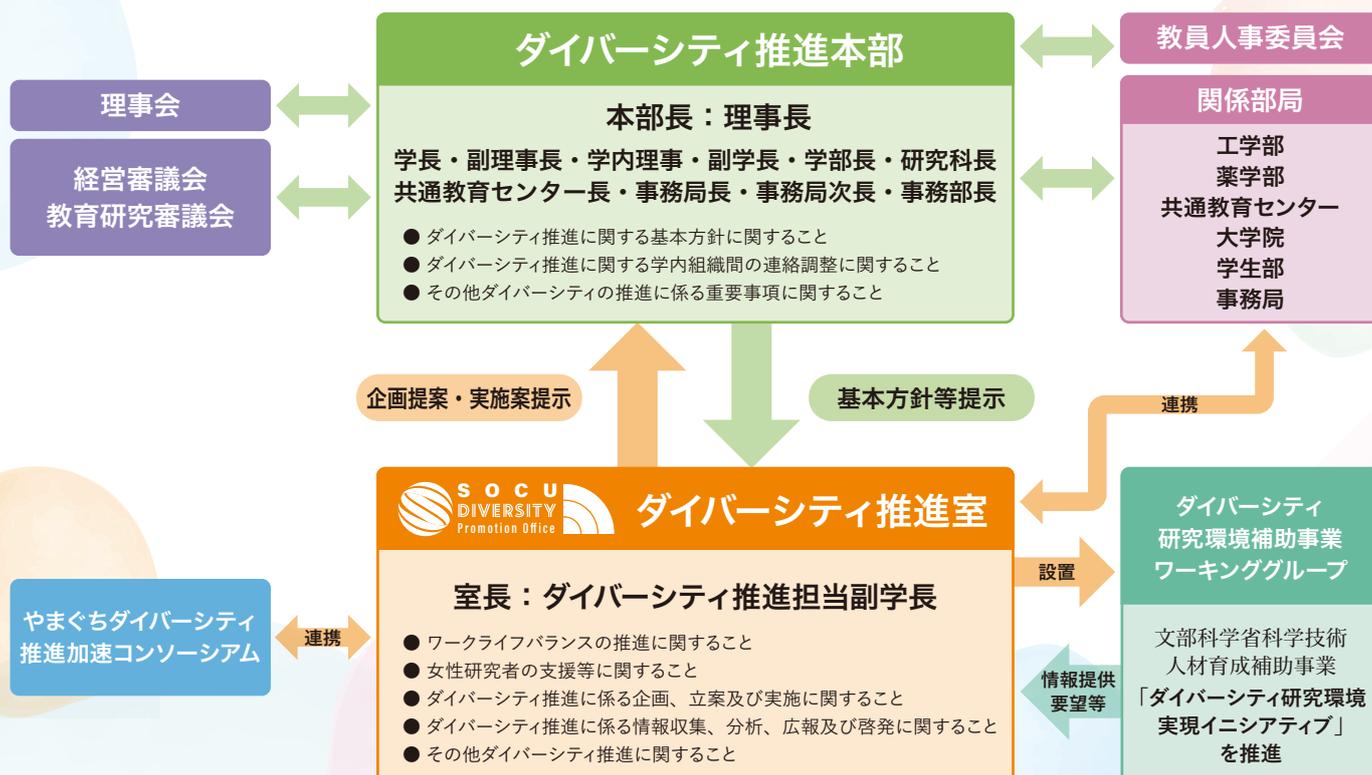
本学の調査（令和2年度）では、女子学生の割合が28.1%にも関わらず、女性教職員割合は11.4%、女性管理職員の割合は16.3%でした。

そこで、本学では、「男女ともに活躍できる大学をめざす」ために、令和3年8月に「ダイバーシティ推進室」が設置されました。2030年までの行動計画を策定し、学生にとってより良い教育環境を構築し、地域に貢献できる人材を育成する取り組みを進めています。



ダイバーシティ推進担当副学長・室長 井上 幸江

組織・体制





女性研究者への研究支援

● 特に優秀な女性研究者への研究費支援経費

女性研究者個人又は女性研究者が研究代表の共同研究グループを対象に、原則として一件あたり50万円を上限に研究費を補助する制度です。

● AI 研究デザインプロジェクト支援経費

AI技術を適用しようとするデータを扱った研究をしている女性研究グループ又は、AI技術の研究を行っている女性研究グループ(個人でも可だが、女性研究者対象とする)を対象に、原則として一件あたり50万円を上限に研究費を補助する制度です。

● 女性研究者が代表の共同研究費支援経費

女性研究者が研究代表の共同研究グループを対象に、原則として一件あたり50万円を上限に研究費を補助する制度です。

● 海外論文投稿費・別刷費用補助金

女性研究者のキャリアアップ支援事業として、学内で行われた研究で本学の女性研究者が応募論文の筆頭著者である場合に、原則として一件あたり10万円を上限に論文投稿費・別刷費用を補助する制度です。



育児・介護支援

● 研究補助員制度

出産・育児・介護等のライフイベントにより、十分な研究時間を確保できない状況にある教員等の研究活動の継続と研究力向上を図ることを目的として、「研究補助員制度」を実施しています。



<対象者>

本制度による支援対象者は、本学の教員で、配偶者を有する場合は原則として配偶者が就業している、若しくは特段の事情(配偶者の病気入院等)を有する場合で、次の各号のいずれかに該当する者になります。

- (1) 妊娠中の者
- (2) 未就学の子(0歳から6歳の小学校に入学する前まで)を養育している者
- (3) 要介護状態にある家族を申請者自身が介護している者
- (4) その他、前各号に順ずるライフイベント上の事由により十分な研究時間を確保できない事情にあると本学が認める教員

<研究補助業務の内容>

実験補助、研究データの解析、統計処理、文献調査、発表資料作成等の研究補助業務に限ります。

<研究補助員の利用時間>

1教員あたりの上限利用時間は、ライフイベントの内容(養育する子の年齢等)によって異なります。

※研究補助員の候補者がいる場合は申請時にお知らせください。



UD (ユニバーサルデザイン) マップ

山陽小野田市立山口東京理科大学では、ユニバーサルデザインの考え方をもとに、だれもが安心して過ごせるキャンパスづくりを実現するため、建物入口・スロープ・エレベーター等のバリアフリー情報等に関する情報を掲載したUDマップ(ユニバーサルデザインマップ)を作成しています。



多目的トイレの設置

車いす使用者や高齢者、子供(幼児)連れ、介助を必要とする人、LGBT(性的マイノリティ)の方など、さまざまな事情を抱えた人の利便性を考慮した、多機能トイレを設置しています。



● チルドレンデイキャンプ

仕事と子育てを両立するための支援として、学校などの長期休暇中の学童保育・一時預かり保育を提供する制度です。3歳から12歳の児童を対象にした保育委託事業者による保育と学童に、本学独自のサイエンスの学びやアクティビティを組み合わせ合わせた企画です。

● 長期休暇時の学童保育における共同利用(山口大学主催「ヤマミィ学級」)

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)事業にて、2020年度から長期休暇時の学童保育の共同利用を開始しました。

連日多彩な体験プログラムが構成されており、右の写真は、凧作りと凧あげの様子です。子供たちも毎回プログラムを楽しんでいます。



● 学内託児スペース貸出

学内託児スペースは、学内で開催されるイベント時の保育のためにご利用いただける教職員のためのスペースです。利用者は保育者を手配したうえで学内託児スペースをご利用いただくことが可能です(要事前予約)。客員宿舎1階を学内託児スペースとしてご利用いただけます。利用を希望される教職員は、お気軽にダイバーシティ推進室までお問い合わせください。

女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画

山陽小野田市立山口東京理科大学は、女性はその個性と能力を十分に発揮できる社会を実現し、男女ともに教職員全員が活躍できる大学となることを目指し、次のとおり女性活躍推進のための行動計画を策定し、取り組みを進めます。

1. 計画期間

2021年4月1日から2025年3月31日まで

2. 本学の課題

教育職員に占める女性の割合が低く、また、女性が管理職を目指したいと思える環境整備が十分ではない。男女ともに、仕事と生活の両立を図る組織的取組をより充実させる必要がある。

3. 目標と取組内容・実施時期

【目標1】教員の女性の割合を15%以上にする

- ワークライフバランス推進及び女性活躍推進について、トップから発信する。
- 男女共同参画セミナーを実施し、女性活躍や女性登用に関する意識を高め、女性が活躍しやすい職場風土の醸成を図る。
- 女性に限定した教員公募、女性を優先した教員公募を実施する。
- 育児や介護といったライフイベントと仕事との両立、業績評価や仕事環境、キャリアアップ等に関する教職員の意識調査を実施する。
- 学童保育・一時預かり保育を実施する。

【目標2】女性の教授の割合を12%以上にする。

- ワークライフバランス推進及び女性活躍推進について、トップから発信する。
- 男女共同参画セミナーを実施し、女性活躍や女性登用に関する意識を高め、女性が活躍しやすい職場風土の醸成を図る。
- 教育職員の昇任制度の見直し、昇任基準の明確化を図る。
- 教員を対象に、より高度な知識やスキルの習得とリーダーを目指す動機づけや意識を醸成するための研修等を実施する。



➤ 推進への取組

- 2021年度**
- ・やまぐち健康経営企業として認定
 - ・ワークライフバランスに関する教職員の意識調査を実施
 - ・女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画を策定
 - ・ダイバーシティ推進本部及びダイバーシティ推進室を設置

- 2020年度**
- ・文部科学省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」に参画
 - ・女性活躍推進担当副学長を設置
 - ・女性活躍推進委員会を設置
 - ・女性活躍推進計画を策定
 - ・障害者活躍推進計画を策定

- 2019年度**
- ・障がい学生支援コーディネーターを配置
 - ・特別休暇の適用範囲の拡大

- 2018年度**
- ・やまぐち男女共同参画推進事業者として認証
 - ・学生リーダーズキャンプで聴覚障害の特性及び聴覚障害者のためのノートテイク勉強会を開催

- 2017年度**
- ・障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領を策定
 - ・学生のための健康セミナー「LGBTsの基礎知識」を開催

- 2016年度**
- ・市民のためのサイエンスカフェ「リケジョが語るサイエンスへのご招待」を開催
 - ・母性健康管理のための休暇が取得できる制度を改正



山陽小野田市立
山口東京理科大学 **ダイバーシティ推進室**

文部科学省人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」

〒756-0884 山口県山陽小野田市大学通1-1-1
TEL 0836-88-3500 FAX 0836-88-3400

<http://www.socu.ac.jp/>

